

平成24年度

専門委員会だより

2013年1月号

第2回 専門委員長会を開催

専門委員会活動も半分が過ぎたところで、委員長の皆さんが集まり、情報交換を行いました。

神戸市PTA協議会には、市P協の専門委員会活動方針について研修していきながら、区や校種を超えたつながりを持ち、内外への情報の提供、共有をすることで、PTAとしての資質向上を目指すために作られた、専門委員会があります。

専門委員会は5つあり、それぞれの特徴ある活動や、研究を行っています。

組織・運営専門委員会では、単位PTAの抱える悩みについて校種別地区別に検証しています。

研修専門委員会では、毎年2月頃に開催される「5校種合同研修会」を企画運営します。その内容やテーマ、講師選び、また準備や役割などを話し合いながら進めていきます。その前に行われる教育委員会主催のPTA人権研修会での運営の手伝いの経験を活かします。

広報専門委員会では、市P協の機関紙「PTA神戸」の年間発行分のうち2回を担当し、テーマに沿って記事集めや構成、編集を行ないながら市P協活動の広報の役目を担っています。

健全育成専門委員会では、「子どもたちをPTAや地域の立場で育成していくこと」をテーマに毎回熱い論議を尽くしています。

家庭教育専門委員会では、保護者として家庭でどのように子育てにかかわっていくべきかを研究しています。

会議のテーマや進め方は、市P協の規約や基本方針に則っていれば、委員長に内容の全てが任されています。

そこで頼りになるのは、何よりも各委員会に2名いる副委員長で、会議内容の相談や、議事のまとめ、進行のサポートをするなど、委員長にとって、なくてはならない存在です。校種を超え協力し合っている姿が見られます。

昨年より、委員長同士が情報交換をすることで、専門委員会を運営する上でのヒントを得たり、うまくいかないことを吐露し合ったり励まし合ったりできる場を、ということで今年度も、第2回目となる委員長会を開催いたしました。



平成24年12月10日(月)

神戸市総合教育センター

専門委員長（敬称略）

組織・運営	國井 孝之（兵庫中）
研 修	南本 孝治（本庄中）
広 報	檜原 浩司（檀谷小）
健全育成	加村 知栄子（千代ヶ丘小）
家庭教育	金辻 綾子（長峰

初めてかかわること***

初めて専門委員会に係る方は「専門」という言葉に「専門＝プロ」と捉えてしまい、「自分なんかができるのか」という風に委縮してしまうのではないのでしょうか。しかし実は、「専門＝ユニーク性」という意味合いで、他の委員会と区別するために使われているのであって、単Pの会長や本部役員さんが市P協会長から委嘱されて委員会が構成されています。

全国にある地方協議会の中には、名称や数については様々で、何らかの専門委員会や専門部会があります。同じように日本PTAでも常置委員会という、一つの分野を専門的に企画運営する会があります。いずれもPTAとしての資質向上や自己研さんの場となっています。

神戸市PTA協議会の専門委員の選出方法は、神戸市立の5校種（幼、小、中、高、盲・養）PTA連合会から市P協規約に則った人数を推薦していただいています。区から選出される小、中の場合、輪番制で回している所が多いので、ほとんどの方が初めてですが、中には何度もいろいろな専門委員をされた方もおられます。

今、専門委員会では***

今年の家庭教育専門委員会では、最初に9つのあいさつや声掛けの言葉等を決めて、毎月1つを家庭で実践し、次回に成果などを発表しています。最初にスケジュールや、やり方を決めているのでスムーズです。会議は、大きな輪座で、発言や発表は主に委員長が指名する形です。各自の気に入

った詩の披露など今までにないやり方で、毎回、心が軽くなって帰ってもらえればという思いで進めています。思いを発散できれば子育ても気持ちの上で余裕ができるからです。

健全育成専門委員会では、毎回一人ずつの話を順番に聞くだけでは、しんどくなってしまうだろうと、5人程度の少人数グループでの話し合いに変えました。「子どもの安全や、あいさつやマナー（道徳）、学校と地域とPTAの連携」などのテーマで、子どもの健全育成について話した内容をグループ発表し、次回はさらに煮詰めて行くやり方です。皆さん本当によく話しをし、一気に空気が活性化しました。出席率も上がり、男性はもともと少ないのですが、良く参加されています。委員の皆さんが、話す楽しさに加え、毎回、総括での指導助言で必ず何か得るものがあると実感されたからではないのでしょうか。何かひとつの結果に行き着くまでもうひと頑張りというところです。

同じくグループ討議を行っている組織・運営専門委員会では、最初に全員で、単Pの抱える悩みや問題を出し合って、4つに絞ったところから始めました。役員選考やPTA会費など、どのPTAでも気になるテーマを取り上げたことで、毎回たくさんの方が参加しています。校種や地域性によっての違いを知り、参考になる情報が満載です。正副委員長それぞれの得意分野を活かして会議を進めており、生き生きと活動をされています。会議後にランチ会なども行うことで、親密さが増しているようです。



左から健全育成、組織・運営、家庭教育専門委員長

広報専門委員会は広報紙の発行に向けて編集会議を行います。記事や資料集めは委員さんがそれぞれ担当し、委員長は舵取りに徹しています。2つの班に分かれて、前半（106号）後半（107号）を担当する形なので、全員が集まることは3月まで少ないのですが、前半の途中から後半の方にも様子を見てもらったので後半は割とスムーズに107号へ向け進んでいるようです。委員長としては年間通し出席ということになるのでかなり日数も多くなり大変です。副委員長と交代で出ようかとも話し合いましたが、やはり気になって、出られるときは出ようという感じで、結局毎回出席です。あと少しなので最後までやり遂げるつもりだそうです。

研修専門委員会は、「PTA人権研修(市教委)」の運営を補助することで、自分たちで企画運営する「5校種合同研修会」の運営をよりスムーズにするという目的もあり、10月までは5校種合同研修会の講師を決めたり、人権研修会の打ち合わせをしたりで、なかなか委員さんの発言する場がありませんでした。11月に初めてミニ研修会ということで、テーマを決めず、単位PTAの話などを自由に討議してもらえるような企画を行いました。5校種の委員が混じるようにグループ分けし話をしてもらいました。結果、活発な意見交換ができました。次はテーマを絞り、何回か行っていく予定です。情報交換だけでなく、研修のあり方など、PTA活動に参考となるようなものになればと考えて進めています。今後は5校種合同研修会をやり遂げて、総会へ向かいたいと考えています。5校種合同研修会については、より多く参加していただけるよう今年初めて土曜日に設定し、会場も「垂水レバンテ」を予定しています。

今まで平日は仕事で参加しにくかった一般会員、特に男性会員、また先生へも広く呼びかけ、慣例的に本部役員が参加するという負担を減らすことと、会員全てに平等に情報を提供し、PTA活動への関心を持てる良い機会になればと考えています。講師も大変知名度のある方なので、会員の皆さんもご存じの方が多いはず。委員さんからの声

掛けと口コミの力にも多くの参加を期待したいと思っています。

総会へむけて***

3月には総会を行い、専門委員会活動としての会議は終了です。

各専門委員会では、2月の会議に総会でどう報告するかを具体的に話し合いますが、それまでにどの委員会もそろそろまとめる方向に向かって行きます。健全育成専門委員会では、同じテーマで毎回グループ討議を重ねながらも、煮詰めていくことでわかってきたことを発表したいと考えています。

組織・運営専門委員会では4つのテーマで話し合いながら、1つずつ掘り下げ、検証したことを発表する方向です。

家庭教育専門委員会では、年間を通じて行ってきた9つの声掛け、あいさつ等から、毎月実践してきた中で効果のあった言葉の上位のものを発表したいということと、心に残った詩を簡単な冊子にして、記念として家庭教育専門委員会のメンバーで持っておきたいと考えています。

広報専門委員会では、担当した106、107号について、苦労した点、工夫した点など、2つの班ごとに発表したいと考えています。



左から研修、広報専門委員長

研修専門委員会ではこの会の後行われる「5校
種合同研修会が終わるまでは、まだまだまとめに
ついて考えることは難しいですが、研修会の運営
について、また研修活動の一環として行ったグル
ープ討議についても発表できればと考えています。

専門委員の任期は5月末までとなりますが、3
月いっぱいで一応会議は終了です。総会後には、
広報専門委員会は広報紙コンクールの審査と5月
に行われる会長・副会長研修会時に開催する表彰
式の進行、研修専門委員会は同じく会長・副会長
会の司会進行や受付という仕事があります。

正副委員長はじめ、委員の皆さんは単P活動や
お仕事で本当にお忙しい中、時間を作って会議に
参加されています。

委員会は委員長の考えやスキルのみで進めてい
くものではありません。委員の皆さんのご意見や
要望を取りいれながら、それぞれの専門分野に沿
った内容で進んでいます。総会に向けあと少しで
すが、協力し合いながら良い結果となるよう、ど
の委員会も頑張っている所です。



上2枚、研修専門委員会による「PTA人権研修会」での受付の様子。
下、普段の会議の様子。(健全育成専門委員会)



 神戸市PTA協議会

〒650-0044

神戸市中央区東川崎町1-3-2

神戸市総合教育センター内

TEL(078)360-3453